

授業科目一覧

- ：リサーチワーク科目
- 無印：コースワーク科目

授 業 科 目	単 位	備 考
哲学特論Ⅰ	4	☆
哲学特論Ⅱ	4	☆
哲学特論Ⅲ	4	☆
哲学特論Ⅳ	4	☆
哲学特論Ⅴ	4	☆
哲学特論Ⅵ-1	2	☆
哲学特論Ⅵ-2	2	☆
キリスト教学特論Ⅰ	4	☆
キリスト教学特論Ⅱ	4	☆
キリスト教学特論Ⅲ	4	☆
キリスト教学特論Ⅳ	4	☆
キリスト教学特論Ⅴ-1	2	☆
キリスト教学特論Ⅴ-2	2	☆
美学・芸術学特論Ⅰ	4	☆
美学・芸術学特論Ⅱ	4	☆
美学・芸術学特論Ⅲ	4	☆
美学・芸術学特論Ⅳ	4	☆
現代思想特論Ⅰ-1	2	☆
現代思想特論Ⅰ-2	2	☆
現代思想特論Ⅱ-1	2	☆
現代思想特論Ⅱ-2	2	☆
●哲学論文演習Ⅰ	4	☆
●哲学論文演習Ⅱ	4	☆
●哲学論文演習Ⅲ	4	☆
●哲学論文演習Ⅳ	4	☆
●哲学論文演習Ⅴ	4	☆
●哲学論文演習Ⅵ	4	☆
●哲学論文演習Ⅶ	4	☆

備考：☆印は再履修することができる科目を示す  
本年度に開講する科目についてはシラバス等を参照すること

履修要項

●単位の修得方法

修了要件単位（30単位以上）は次のように修得する。

- (1) 修了要件単位のうち、20単位以上を左記の本学大学院の哲学専攻において修得する。
- (2) 残りの10単位以上については、次の科目から修得する（ただし、1科目の単位の一部を分けて算入することはできない）。
  - ① 本学大学院の哲学専攻の授業科目、ならびに哲学専攻が承認した本学大学院他専攻修士課程および博士前期課程の授業科目
  - ② 本学大学院の哲学専攻が承認した、委託聴講生制度の協定を結んだ他大学大学院の授業科目
  - ③ 本学の学部授業科目のうち特に認定された科目（修了単位に算入することが認められるのは、8単位までとする）

●履修方法

次のように履修することが望ましい。

- 1年次：20単位以上
- 2年次：10単位以上

長期履修学生は履修方法について指導教員に相談すること。  
哲学論文演習Ⅰ～Ⅶは、全年次において履修または再履修できるが、修了要件単位には数えない。

●修士論文の作成

修士論文の作成については、指導教員と副指導教員の指導を受ける。

●研究指導体制

- (1) 入学後の早い時期に、大学院学生の希望および研究領域と本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 大学院学生は、指導教員に定期的に論文執筆指導を受け、修士論文を作成する。
- (6) 指導教員および副指導教員以外の専攻の教員も、大学院学生の求めに応じて指導・副指導教員と相談のうえ、必要な指導にあたる。

●課程修了の所定単位を修得済みの者が標準修業年限を超えて在学する場合

課程修了の所定単位を修得済みの者は、原則として哲学論文演習のみ履修することができる。

授業科目一覧

- ：リサーチワーク科目
- 無印：コースワーク科目

授 業 科 目	単 位	備 考
哲学特論Ⅰ	4	☆
哲学特論Ⅱ	4	☆
哲学特論Ⅲ	4	☆
哲学特論Ⅳ	4	☆
哲学特論Ⅴ	4	☆
哲学特論Ⅵ-1	2	☆
哲学特論Ⅵ-2	2	☆
キリスト教学特論Ⅰ	4	☆
キリスト教学特論Ⅱ	4	☆
キリスト教学特論Ⅲ	4	☆
キリスト教学特論Ⅳ	4	☆
キリスト教学特論Ⅴ-1	2	☆
キリスト教学特論Ⅴ-2	2	☆
美学・芸術学特論Ⅰ	4	☆
美学・芸術学特論Ⅱ	4	☆
美学・芸術学特論Ⅲ	4	☆
美学・芸術学特論Ⅳ	4	☆
現代思想特論Ⅰ-1	2	☆
現代思想特論Ⅰ-2	2	☆
現代思想特論Ⅱ-1	2	☆
現代思想特論Ⅱ-2	2	☆
●哲学論文演習Ⅰ	4	☆
●哲学論文演習Ⅱ	4	☆
●哲学論文演習Ⅲ	4	☆
●哲学論文演習Ⅳ	4	☆
●哲学論文演習Ⅴ	4	☆
●哲学論文演習Ⅵ	4	☆
●哲学論文演習Ⅶ	4	☆

備考：☆印は再履修することができる科目を示す  
本年度に開講する科目についてはシラバス等を参照すること

履修要項

●単位の修得方法

修了要件単位（30単位以上）は次のように修得する。

- (1) 修了要件単位のうち、20単位以上を左記の本学大学院の哲学専攻において修得する。
- (2) 残りの10単位以上については、次の科目から修得する（ただし、1科目の単位の一部を分けて算入することはできない）。
  - ① 本学大学院の哲学専攻の授業科目、ならびに哲学専攻が承認した本学大学院他専攻修士課程および博士前期課程の授業科目
  - ② 本学大学院の哲学専攻が承認した、委託聴講生制度の協定を結んだ他大学大学院の授業科目
  - ③ 本学の学部授業科目のうち特に認定された科目（修了単位の算入することが認められるのは、8単位までとする）

●履修方法

次のように履修することが望ましい。

- 1年次：20単位以上
- 2年次：10単位以上

長期履修学生は履修方法について指導教員に相談すること。

哲学論文演習Ⅰ～Ⅶは、全年次において履修または再履修できるが、修了要件単位の算入することが認められるのは、4単位までとする。

●修士論文の作成

修士論文の作成については、指導教員と副指導教員の指導を受ける。

●研究指導体制

- (1) 入学後の早い時期に、大学院学生の希望および研究領域と本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 大学院学生は、指導教員に定期的に論文執筆指導を受け、修士論文を作成する。
- (6) 指導教員および副指導教員以外の専攻の教員も、大学院学生の求めに応じて指導・副指導教員と相談のうえ、必要な指導にあたる。

●課程修了の所定単位を修得済みの者が標準修業年限を超えて在学する場合

課程修了の所定単位を修得済みの者は、原則として哲学論文演習のみ履修することができる。